

今後援会会員
315名
(目標1000名)

第35回あゆみまつり

★今年初めて秋に開催しました！ 11月11日(日)

これまで、6・7月に行ってきましたが、今年度は全国保研研が6月に広島開催など諸事情があり、初めて11月に行いました。昨年、一昨年と2年連続の雨で、今年こそは…と願っていましたが、残念ながらの雨。しかし、雨にもかかわらず多数の参加があり、大盛況でした。

●保育写真展示テーマ 「しなやかなからだところを育む」

最近、保育士の学習会などで「からだが固い赤ちゃんが多いね」ということをよく耳にします。抱っこしてもピタッと身体が寄り添ってこない、横抱きにすると反り返って嫌がる、うつ伏せを嫌がる…など身体の過敏さをうかがわせる赤ちゃんもいます。また幼児になっても、気持ちの切り替えができにくい子、自分以外の人の気持ちに気づきにくい子、自分の思いを伝えられない子…など、どこの保育所でも気になっているということです。

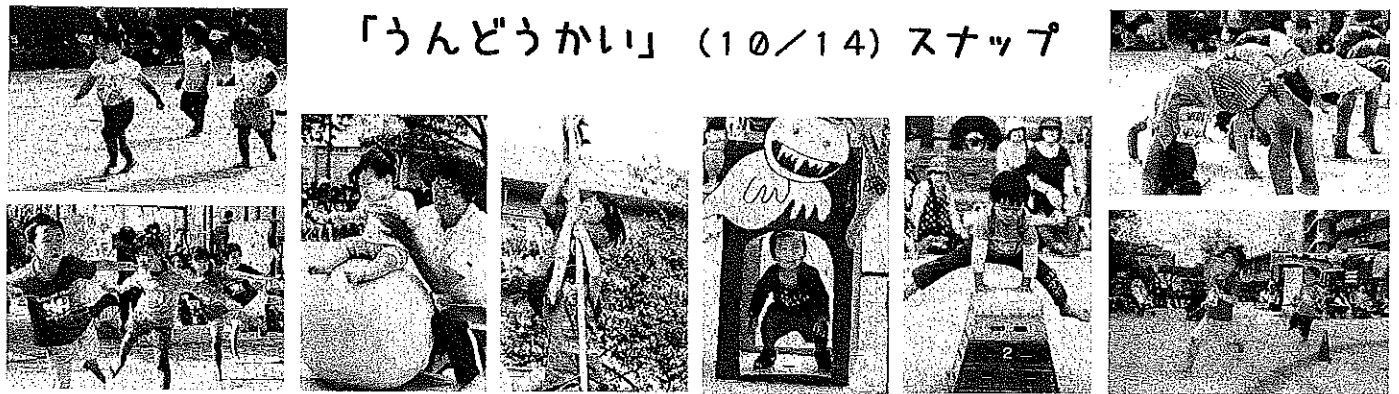
あゆみ保育園では今年度の保育課題を「しなやかな身体と心を育む」とし、子どもたちの身体と心の育ちに意識的にこだわっていくことにしました。子どもは、決して身体と心が別々に育つものではありません。身体と心は相互に関連しあって育っていきます。しっかり身体を動かして散歩したり、ブランコや滑り台・ジャングルジムなどの固定遊具で遊んだり、リズムをしたり、ボール遊びをしたり、鬼ごっこをしたり…身体を使ったいろいろな遊びや活動をすることで、バランス感覚・身のこなし・巧緻性などいろいろな身体感覚が育ってきています。

●あゆみ後援会コーナーの綿菓子・作ってあそぼう・陶芸体験はどれも大好評でした。

●2階の「おひさま」の部屋では、ちびっこからおとしりまでみんなで楽しめるおもしろい仮装コンサート あゆみ劇場『T-ブレイクコンサート』を開催。動物、アンパンマンの楽しい仮装と演奏、マジックショーとみんなで楽しみました。



「うんどうかい」(10/14)スナップ



お知らせコーナー

★もちつき会のご案内

日時：12月23日(日) 9:00

*雨天でもおこないます
場所：蔵本公園(前の公園)

参加費 大人 400円
子ども 300円

・つきたてのお餅をいただきます
・お餅をついてみたい方は申し出てください。
皿・お椀・お茶・はし等持参してください。

※当日受付もありますが、できれば事前に電話予約をお願いします。

●子育て講演会のご案内

日時：2013年1月26日(土)

9:30～11:30

場所：2階おひさまの部屋

テーマ：「自分づくりにつきあう子育て」

講師：葛城妙子先生(元広島市西區子ども養育センター室長)

参加費 500円
(あゆみ保護者は無料)

★2012年度会費未納の方はよろしくお願ひ致します

・本日同封の郵便局の振り込み用紙に、2012年度会費と記入のある方は、未納となっております。(行き違いがありましたら、ご容赦ください)何卒、今年度も継続していただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

広島県指導員学校とは、県内各地から児童保育指導員や保護者、中には小学校の先生と、100人以上の参加者でした。

今回の指導員学校では、福山市立大学の田丸先生を招いて色々なお話を聞いてきました。その中で、1000点サッカーのお話を聞きましたが、児童には運動が苦手な子、得意な子、男の子、女の子いろいろいるのですが、遊びの時のハンドの話でした。スポーツが得意な子は何点でも増やせますが、苦手な子はなかなか得点を増やすことができません。得意な子が1点とするなら、苦手な子が1000点、話は極端でしたが、5点でも10点でも構わない、そうすることで、スポーツの苦手な子も楽しめると言っていました。

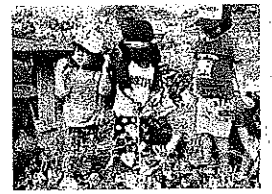
1年生から6年生まで在籍するあゆみも体力や力の差は歴然。サッカーに限らず、楽しく遊びにまぜたハンドなども作ってみました。

第27回全国保育所給食セミナー in 松江(12月8・9日) おやつ担当 川原裕子

全国給食セミナーに初めて参加しました。1日目のシンポジウムでは、島根大学の肥後先生が『ふつうに食べることが保証してはいること』というテーマで、家族の食卓を囲むということとは、「食べる」「栄養補給」の場だけではなく、それを通じて同じ物を食べて、集団の一員として育てる、大好きな家族と共有の体験を積み重ねることで、親子のコミュニケーションが取れるの安定にもつながるということなど、とても興味深いお話をされました。また、「近年「食育」ブームで、その言葉が一人歩きしており、本来、「食べる」というのは当たり前の行為のはず。子ども達に伝えていくべきことは、食べ物を粗末にしないことや、季節に応じた食の文化を大切にして、もちつき等で大人達が楽しそうに賑やかにして、いい匂いがしてそこに子ども達も一緒に参加して、という体験を通じて心を豊かにしていくことが大切。あゆみ保育園のおもちつき会も、子ども達がお父さんの頑張る姿を見て、心に刻んでいく大切な行事だと思いました。

二日目は、「父母との伝え合い」の分科会に出席しましたが、子ども達が保育園でどんな物を食べているのか興味を持たれている保護者が多く、給食参観という機会をもうけ給食を身近に感じてもらいたい子ども達も保護者が観に来るということも張り切って食べると言われていました。食器の点では、ワンプレートではなくそれぞれの器に盛り付けて、食器を持ち上げて食べる事で腕の筋肉の発達を促したり、持つことで視界が広がり周りを見てみんなとワイワイ食事をすることができるとお話されました。(あゆみでも別々の陶器の食器を使用しています)

今回のセミナーに参加させていただいて、こんなにもたくさんの方が保育園の給食をより良くしていこうと様々な工夫をしながら取り組まれていることを実感しました。



あゆみ ねんらくちょう

☆芋掘り遠足

10月29日、OBであり理事のメンバーでもあるIさん所有の畑(内神町)をお借りして、毎年芋の苗を植えています。子どもたちは「大きくなったかねえ」「雨がふったら、いも畑のおいもさんがよるこんでるじゃろうね」などと、気かけながら成長を楽しみにしてきました。

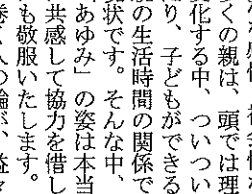
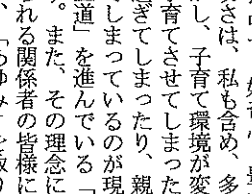
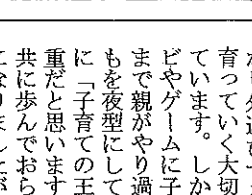
2歳児クラスから芋掘りに参加し、歓声をあげながらいろいろな大きさの芋を掘り、大満足で帰ってきました。掘ったお芋は後日、二河川の河川敷で「いも煮会」をしてみんなで美味しくいただきました。



☆ばんざーい！登ったよーくじらぐみ黒滝山登山ー

11月16日金曜日黒滝山に登ってきました。朝からテンションの高いみんな。駅をはねるように歩きます。あまり早くから元気すぎるとあとが続かなくなかも心配な私ですが、わくわくみんなです。長い電車の中も、乗り合わせたお客さんとの会話でまたまた気持ちアップ!

海を見ながらの登山。最後までがんばりました。頂上に着くと、さっそく「おなかすいたよ」の声。お弁当、楽しみなおやつにばくつきました。帰りはどんぐりや松ぼっくりを拾いながらの秋の一日を満喫しました。



あゆみOBリーエッセイ

Vol.80

「あゆみ保育園」に通った1年間を振り返って

奥田浩明

早いもので、次男の勇二が「あゆみ」を卒園して2年近くが経過しました。(「年中」の終わりから卒園までの1年余り、「あゆみ」に通わせていただきました。)今、改めて当時を振り返りながら、「あゆみ」の保育の素晴らしさを、与えられた字数の中で、私なりに表現してみたい。勝手な思い込みや解釈が入った乱文ですが、どうかお許し下さい。

数々の思い出の中で、今も私の脳裏に焼き付いているのは、勇二が入園させていた、すぐの卒園式。卒園式では、高い竹馬、見事な剣玉さばき、側転をはじめ高度な技が連続のお遊技・ダンス。『軽業師』のような1級上の年長さんの動きにただただ圧倒されました。確かにすごい保育だけれど、私に似て運動神経のない勇二がこれからの1年間であの域に達するのは無理だと思ふ」と妻に話したことを今も覚えていますが、その後の1年間で、『軽業師の域』には達しませんでした。が、苦手な種目にも果敢にチャレンジできる子どもに育てていただいたことに、今も本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

こう書いたからと言って、「あゆみ」の保育はけつして奇抜なものではありません。もちろん「中国雑技団」のトレーニングを行っているわけではなく、冬も薄着にして外でしっかり遊ぶ、夏は水を怖がらずにしっかりと泳ぐ、かなりの距離でも歩いて出かける、剣玉などの昔からの遊びを大切に、棒のぼりでも跳び箱でも安易に目標を下げずにやり切らせて達成感を味わわせる、料理でも裁縫でもできることは子どもにもさせる、園内で遊ぶ時はできるだけ映像に頼らずおもちゃで遊ぶ、子どもの発達段階に配慮して小学校の「安易な先取り・詰め込み」は行わない。お忙しい中でも頻りに発行される「園だより」や、毎日の先生からの「お便り」で、このような保育が日々行われていることを、私なりに実感できました。おそらく、異のどこの園にもない、運動会や卒園式での子ども達の「逞しい姿」も、このような先生方の取組の集大成なのだ、今では理解しています。

昔から、子どもは「風の子」と言われます。お友達としっかり外遊びする中で、好奇心、豊かな感性、社会性などが育っていく大切さは、私も含め、多くの親は、頭では理解しています。しかし、子育て環境が変化中、ついついテレビやゲームに子育てさせてしまったり、子どもができることまで親がやり過ぎてしまったり、親の生活時間の関係で子どもを夜型にしてしまっているのが現状です。そんな中、頑固に「子育ての王道」を進んでいる「あゆみ」の姿は本当に貴重だと思えます。また、その理念に共感して協力を惜しまず共に歩んでおられる関係者の皆様にも敬服いたします。末筆になりましたが、「あゆみ」を取り巻く人の輪が、益々大きくなることを祈念してこの駄文を終りたいと思います。